

# 紫友同窓会会報



■編集発行人：鹿児島大学共同獣医学部 紫友同窓会 〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-24

■印刷：小野高速印刷株式会社

## 同窓会の役割と 今後に向けて

紫友同窓会 副会長 新納 時英  
(昭和44年卒)



紫友同窓会会員の皆さまに於かれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

私は、28年度評議員会にて副会長の一人に選出頂き、今後も西中川会長の下、同窓生の皆さま方のご支援とご協力を頂きながら紫友同窓会の発展の為、尽力してまいり所存でございます。

さて、本学部は各講座、附属教育研究施設等も充実し、知識欲と探究心にあふれる学生が全国各地より集まり、

卒業後は臨床獣医師、公務員獣医師、民間企業等各職域で活躍をされています。このような優れた獣医師養成に心血を注がれている教職員の皆さまへの支援等を、会員皆様の浄財を活用し更に推進すると共に、この会報が大切な情報交換の場となり会員皆様の絆が深まるよう、各職域の近況等情報の提供をお願いする次第です。

来年は「第160回日本獣医学会学術集会」も鹿児島で開催されると伺っております。同窓会の発展は母校の発展にあると思います。鹿児島大学の「看板学部」として益々躍進するよう、同窓の皆様のご理解とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、会員の皆様方のご多幸をご祈念申し上げます。

## 共同獣医学部の 最近の動向とEAEVE認証

共同獣医学部長 宮本 篤  
(昭和57年卒)

共同獣医学部は、創設後既に4年と半年が過ぎました。私達の学部の目標は、地域貢献と国際化です。地域との関わりは獣医学にとっても鹿児島大学にとっても非常に重要で、平成28年5月には高瀬教授の取組みのもと、民間の農場6社・団体で臨床実習を行う産学間協定を結びました。6月には大隅半島の大崎町に獣医学教育の新たな拠点作りのために、特任助教と職員が常駐する「大隅産業動物診療研修センター」を設置しました。また、8月には新たに「小動物診療センター」の新棟建設工事が始まり、同時にこれまでの「附属動物病院」は「大動物診療センター」への改装工事が行われています。

一方、国際化ですが、平成27年9月に総合動物実験施設が完成し、AAALACインターナショナルという米国の国際実験動物ケア評価認証協会の認証を取得する目途がつき、平成28年度内に申請をする予定です。また、北の北海道大学・帯広畜産大学、南の山口大学・鹿児島大学では、それぞれの地域の強みを教育に十分に活かしてEAEVEというヨーロッパ教育水準の認証取得を目指しています。これには、先に述べた地域との関わりも大いに評価されることとなります。既に平成26、27年度と2回にわたり欧州の協力大学による非公式事前診断を受け（写真：3名の認証評価委員経験者による外科実習の視察の様子、有村教育改革室准教授ご提供）、その指摘事項を改

善しながら、平成29年度には公式事前診断を受け、平成32年度に指摘事項をクリアすれば、EAEVE認証を取得出来る予定です。

EAEVE認証を取得したら何が変わのでしょうか。ヨーロッパで臨床医として直ぐに働ける獣医師が出来る訳ではありませんが、ヨーロッパの教育水準と同等の教育を受けているとの証は、これから国際的に活躍する国内外の獣医師の信用を一段と高めます。また、アジアの国々から日本の獣医学を学びに来る学生や獣医師も更に増えるものと期待できます。これらの取り組みの背景には、日本の人口が急速に減少すると予想されていることが全てのベースになっていると考えてもよいのかもしれませんが。国立大学も今の姿がこのまま続くことは考えられません。しかし、今後どのような情勢になっても、それに対応できる獣医師の育成を目指して、私達、学部教員は全力で教育に邁進していく所存です。既に鹿児島県や市町村の卒業生を含む職員の皆様、開業医の皆様には多くのご協力を頂いており感謝申し上げます。今後とも引き続き、どうぞ皆様方の暖かいご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



## 民間企業と臨床実習に関わる協定締結

高瀬 公三(昭和50年卒)

共同獣医学部では、国際水準の獣医学教育実践のため、産業動物(牛・豚・鶏)に関する臨床実習を目的として、鹿児島県農業共済組合連合会、(株)ナンチクファーム、(株)ジャパンファーム養豚事業本部、同チキン生産本部、鹿児島県経済農業協同組合連合会、鹿児島くみあいチキンフーズ(株)、(株)ウェルファームフーズの6企業、7団体と産学間(企業・大学)協定を平成28年5月26日に締結しました。

従来は、附属動物病院を中心とした犬猫の臨床実習が中心となっていたのですが、産業動物分野で働く獣医師養成のため、優れた専属の管理獣医師がいる企業の農場へ学生を派遣し、産業動物の現場を活用する「参加型」臨床実習を

実践するのが目的です。学生は、農場の飼育環境、飼養管理(給餌、給水、投薬など)、健康管理(体温、体重測定、採血)、臨床症状の観察、触診、死亡個体の解剖観察など、実際に手で触れながら、実体験から学ぶことができます。このような産学間協定締結は全国初のケースですが、その成果が大いに期待されます。



## 東西南北同窓会・同窓生便り

### 愛知県知多同窓会報告

飴本 秀夫(昭和40年卒)

愛知県知多半島では、同期同窓会ではなく年齢を超えた同窓会を年1回開催して親交を深めています。

一番年長は海外で御活躍された富永氏(昭和38年卒)、武豊町でナガセ動物病病院を開業されて後輩の育成をされている永瀬氏(昭和42年卒)、同病院勤務の吉田氏(平成15年卒)横井氏(平成24年卒)、愛知県農業共済半田支所長中村氏(平

成6年卒)、半田保健所勤務の都築氏(平成6年卒)、一番若手の食品検査所勤務の藤田氏(平成26年卒)です。卒業年度は違っても、同じ学科で学んだものが集



まり楽しい一時を過ごしています。平成28年8月26日開催の会では中村氏、小生、都築氏、永瀬氏が参加しました。

### 長崎県支部同窓会報告

岩松 茂(昭和52年卒)

長崎県支部会員は現在66名で、隔年で同窓会を開催していましたが、昨年某先輩から「もう先がないので毎年開催して」との要望があり、今年も10月9日(日)に諫早市内の高級料亭で開催しました。連休で「長崎くんち」最終日だったためか、これまでで最も少ない14名の出席でした。



冒頭、今年逝去された豊福徳衛先生(S24卒)と山本博康先生(S33卒)の功績

を偲び黙祷をささげた後に総会を開催し、今年90歳になられた石丸義美先生の乾杯音頭で懇親会となり、恩師や鹿大の思い出、近況報告等で夜遅くまで盛り上がり、楽しいひと時となりました。

なお、今回の出席者(敬称略・卒業年)は、未だに車を運転する石丸義美(S23)、ウォーキングとダレヤメが日課の山元 忠(S24)、親子出席の宮本修二(S38)、環境保護に燃える大島弘三(S41)、肉用牛経営も順調な下古立大哉(S43)、鹿児島弁を貫く上野幸夫(S44)、果樹専業となった三浦徳明(S48)、後輩を雇用し休みが増えた大動物診療の中村佳次(S55)、博士号を取得した事務局の谷山 敦(H2)、象「はなこ」の最期を看取った石田 学(H5)、直属上司が谷山先輩の宮本 全(H9)、食検から家保に異動した川本雄太(H19)、大動物診療のホープ三島隆生(H25)と出席者減を反省の文責・岩松 茂(S52)です。写真でご確認下さい。

### 平成14・15年卒合同同窓会報告

宮城 敦(平成15年卒)

去る9月18日に博多にて平成14・15年卒業生で合同同窓会を行いました。平成14年卒の参加者は横山、小夫家(旧姓:植原)、藤田、原口(旧姓:森重)、堀、寺迫(旧姓:若松)、笑喜、西村、村田、高橋の10名。平成15年卒の参加者は高木、内山、栗原、田畑、齊藤(旧姓:丸山)、長友(旧姓:波

多野)、吉浦(旧姓:宮元)、蒲池(旧姓:山崎)、齋藤、田畑、宮城の11名でした。

きっかけは10年前に逝去され



た平成14年卒の吉浦さんのお墓参りの有志を募るところから始まり、合同での同窓会という形になりました。非公式の会ではありますが、卒業後に集まった会としては最大規模になりました。卒業以来会っていなかった面々も多い中、昔話や業界話で大いに盛り上がり過ぎて、出席者の全員集

合写真を撮るのも失念してしまいました。泥酔しかけながらも三次会まで飲み明かした翌日は、遠賀の吉浦家まで一同お墓参りに赴き、お線香を上げた後、次回は公式で更に人数を集めて開催することを約束し解散となりました。

## まさかまさか…の熊本地震

平田 四郎(昭和50年卒)



昭和50年に卒業して40年が過ぎ、いまは、囑託の仕事と雑用の日々です。この齢で先日人生最大の「まさか」に遭遇しました。4月14日・16日の熊本地震です。

私はあの益城町に住んでいます。14日の夜9時30分ごろ入浴中に、突然縦横に激しく揺さぶられました。震度7(M6.5)でした。家具や食器などが散乱し足の踏み場もありませんでした。幸い建物はほぼ無事でした。強い余震に気をつけながら片づけをして、15日は安全な廊下に布団を敷いて寝ました。16日午前1時30分ごろ、突然真下から突

き上げられ、家が壊れんばかりに激しく揺さぶられました。一瞬死が頭をよぎりました。震度7(M7.3)でしたが、14日より激しく大きく感じました。家の倒壊は免れましたが、屋根をはじめ、外・内壁、風呂壁タイルなどの損壊、家の中は14日と同様に散乱。外の給湯器も倒壊破損。震度7が2度も来るなんて、まさに青天の霹靂。電気はありましたが断水。以後、車中泊を10日ほど。炊き出しなどに、初めて並びました。震災から4か月が経過しましたが、この間、余震・大雨・猛暑と続き、その日暮らして過ごしてきました。町内の全半壊が5,500棟の大災害となりました。家の補修はほとんど手付かずですが、どうにか今後も住めそうと不安のなかで安堵しています。

それにしても、「一寸先は闇」「地震・雷・火事・親父」。強くかみしめています。同窓の皆様のご健勝と良い「まさか」がたくさんありますように祈念します。

## 北海道で思うこと

市居 修(平成18年卒)

卒業して早十年が過ぎ、私達62期もそろそろ同窓会をとの話が出ております。次年の獣医学会は鹿児島大学で行われるとお聞きしました。その頃、鹿児島ではまだ残暑が続く季節でしょうか。旧友たちは変わらず無茶で元気と思いますが(加齢性変化はあるかも)、学会の折、恩師の皆様や学び舎にお目にかかれることを楽しみにしております。現在、私は大学に身を置いておりますが、国際化や教育改革の波が押し寄せ、私達が学生の頃とは大きく変わりました。思い出は須らくよく思えるものですが、昔はもっと“のびのび”していたなあ(させて頂いた?笑)と、現役の獣

医学生さん達をみていて思います。日々の講義、実習や実験に多くの時間をとられているのだと思いますが、鹿児島大学生としては友達と焼酎へのエフォートも重要ですね。私達は後者を大切に過ぎましたが、後輩諸氏には“なにが重要なのか”伝えたいと思うようになり、年をとりました。まだまだ色々な形で成長させて頂いております。同窓会の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



## 同窓会活動便り

### ◆紫友号復活!



長年、獣医学科の公用車として活躍してきた初代紫友号が平成26年に引退後、学科では学外での実習や診療に学生を帯同するのに苦慮して

いました。そこで、この度2代目紫友号(写真)の購入に際し同窓会から支援することにしました。初代紫友号と同様、NOSAI鹿鹿島診療所、家畜保健衛生所、食肉衛生検査所、動物愛護センター等における現地実習に学生を帯同するために大切に活用され、共同獣医学部からは学外実習が円滑に行えるようになったと大変感謝されています。

### ◆動物慰霊碑の移築

同窓会が寄贈した動物慰霊碑は、長らく動物病院前の西側に設置されていましたが、新たな動物病院の建設に伴い、本年3月にB棟の東隣に移築されました。(写真は移築後の慰霊碑)



### ◆ベストクラスメート賞

同窓会は毎年、卒業生にクラスの取りまとめを最も熱心に行った男女各1名を自ら選んでもらい、ベストクラスメート賞として表彰しています。平成27年度は、池堂智信会員、宮本早紀子会員でした。



## ◆奨学寄附金等の贈呈

平成28年度は、鹿児島大学「進取の精神」支援基金（写真中央は前田芳實学長）及び共同獣医学部紫友号購入支援に各100万円の奨学寄附金を贈呈しました。また、熊本震災復興支援義援金を鹿児島県獣医師会を通じて15万円寄附しました。



## ◆会計報告

平成27年度の一般会計収支決算書（平成28年6月18日の評議員会で承認）の概要を表1に示しました。収入2,639,990円に対し支出874,276円で、1,765,714円が繰越額です。なお、平成27年度学術基金の収支決算では、収入6,351,913円に対し、50,000円の支出があり、6,301,913円が繰越額となっています。

表1 平成27年度一般会計収支決算書 (単位 円)

会計	項目	決算
収入	繰越金	1,498,107
	会費	816,000
	学生会費	260,000
	入会金	15,000
	雑収入	883
	繰入金	50,000
	合計	2,639,990
支出	会議費	82,080
	通信費	362,832
	寄附費	100,648
	備品費	23,544
	人件費	200,000
	その他	105,172
	合計	874,276

## ◆会費等納入のお願い

同窓会の収入は、会員諸氏による年会費（1,500円）及び学術基金（寄附金、一口500円）から成り立っています。今回、年会費をコンビニから納入できるように専用振込用紙も同封しましたのでご利用ください。皆様からの浄財は、会報発行や共同獣医学部への支援等に大切に使用させていただきます。今後とも同窓会活動へのご理解・ご支援と共に、会費等納入をよろしくお願い申し上げます。

## ◆学部教員の異動

新任： 畠添 孝 准教授（産業動物獣医学 H28.2.1）  
 永井 克尚 特任助教（大隅産業動物診療研修センター H28.5.1）  
 一二三 達郎 特任助教（組織病理学 H28.8.1）  
 井尻 萌 特任助教（産業動物獣医学 H28.11.1）  
 （着任日順）  
 退職： 出口 栄三郎 教授（産業動物獣医学 H28.3.31）  
 望月 雅美 教授（感染症学 H28.3.31）

## ◆同窓会役員 現役員名簿は下記のとおりです。

会長	西中川 駿(36)		
副会長	大山 英隆(37) 松元 正治(39) 新納 時英(44) 高瀬 公三(50)		
監事	石黒 茂(41) 鶴田 勉(49) 吉満 文隆(57)		
評議員 (選出母体学外)	県畜産課	佐々木幸良(58) 古川 雅浩(58)	
	県生活衛生課	藤元 英樹(61) 我部山 厚(04)	
	畜産試験場	大小田 勉(02)	
	中央家保	保 正明(02)	
	県食肉検査所	徳田 祐二(57)	
	市保健所	伊地知洋幸(54)	
	市食肉検査所	岸良 弘昭(54)	
	市公園公社	石堂 昭憲(50)	
	経済連	川畑 忠祐(13)	
	開業	上村 利也(02)	
一 般	堀之内達男(33) 松元 計士(36) 坂本 紘(40) 永野 保任(41) 安田 宣紘(43) 梶 哲郎(44) 田原 健(45) 高橋 亘(46) 櫻井 幹男(51) 北野 良夫(52) 紺家 亮爾(52) 山下 静馬(53)		
	鹿大医	川口 博明(07)	
	評議員 (選出母体事務局)	松元 光春(55) 宮本 篤(57) 三角 一浩(61) 帆保 誠二(62) 小尾 岳士(02) 窪田 力(02) 藤木 誠(07) 畠添 孝(08) 三浦 直樹(09) 矢吹 映(09) 安藤 貴朗(13) 高橋 雅(16)	

## ◆訃報 謹んでご冥福をお祈りいたします。

馬場 威 (旧職)  
 原 芳雄 (18) 森永 弘文 (45) 東條 馨 (26)  
 佐藤 源治 (34) 松原 康弘 (20) 玉利 光敏 (25)  
 前原 俊浩 (38) 飯隈 晃 (23) 辻 薩男 (29)  
 本村 道賢 (31) 出口栄三郎 (49) 安斎 哲郎 (23)  
 (敬称略：平成27年4月～平成28年10月末にご逝去)

## 編集後記

4月に発生した熊本震災で被災された会員の皆様には心よりお見舞いを申し上げます。復興は遅々として進んでいないようですが、一日でも早く元の生活に戻られるようお祈りしております。さて、会報は第2号から2ページの体裁にする予定でしたが、皆様にお伝えする情報が多く、4ページとなりました。会報は皆様からの情報提供の場としてこれからも活用いただきたく、同窓会や支部会報告あるいは同窓生便りをどしどしお寄せください。なお、今回の会報から学外編集委員として山田貴美子（H16卒）会員にご協力いただいています。（編集委員会）

## 連絡先

鹿児島大学共同獣医学部産業動物内科学研究室内  
 紫友同窓会（事務局）  
 TEL：099-285-3538 /8711（FAX兼用）  
 E-mail: k2088185@kadai.jp  
 (お願い：出来るだけFAXまたはメールをご利用ください)